

特許流通による事業化成功の要因

平成22年5月

東京工業大学産学連携推進本部
特許流通アドバイザー 鷹巣征行

1

— 目次 —

1. 自己紹介
2. 東工大の産学連携の取り組み
3. 東工大の産学連携活動
4. 東工大の事業化支援策
5. 住宅構造研究所の成功例
・特許登録・ライセンス経過・大学のライセンス活動・市場性
(既存住宅)・市場性(新築)・市場性の課題・事業化成功の
要因(Ⅰ)・事業化成功の要因(Ⅱ)
6. お問い合わせ先

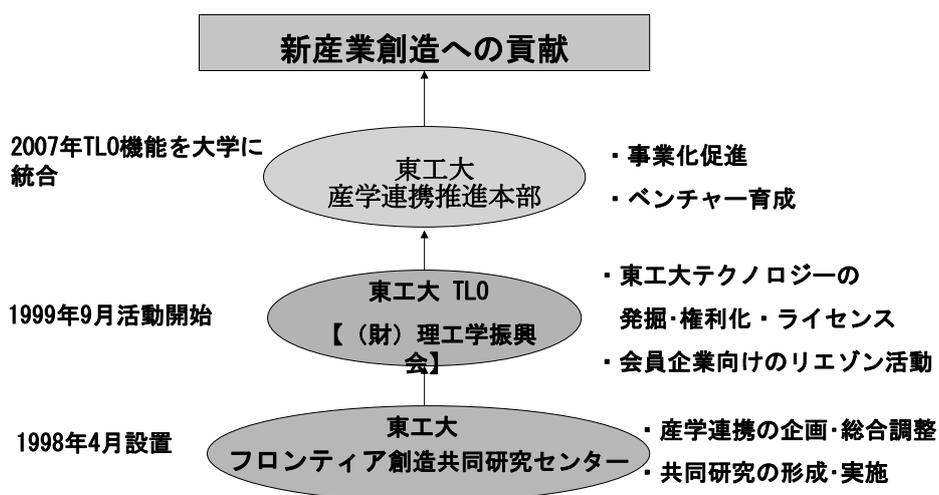
2

1. 自己紹介

- 平成11年東急建設(株)退職後、東工大 TLO事業に参画。
- 特許流通アドバイザー(産学連携コーディネータ)
- 博士(工学)、技術士(機械)
- 著書:建設メカトロニクス(理工図書)
- 特技:そば打ち

3

2. 東工大の産学連携に関する取り組み

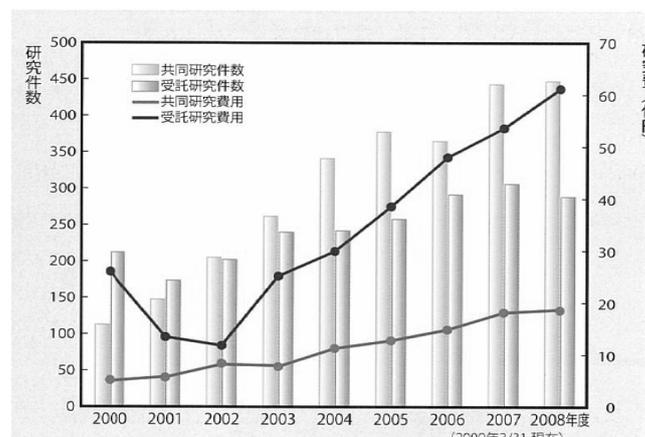


3.産学連携活動

- 共同研究/受託研究
- 組織的連携
- 研究員受け入れ
- 発明の出願・ライセンス
- 大学発ベンチャー支援

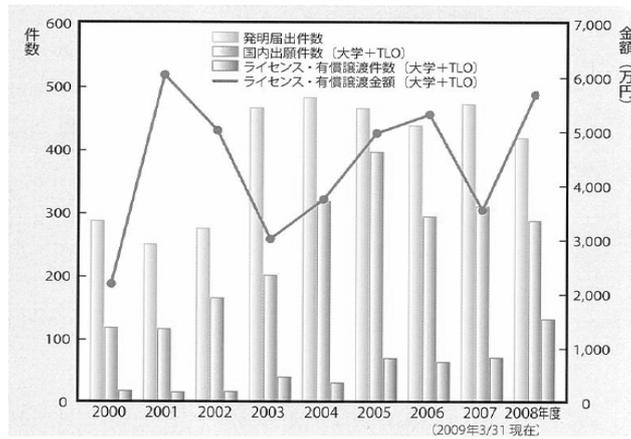
5

共同研究



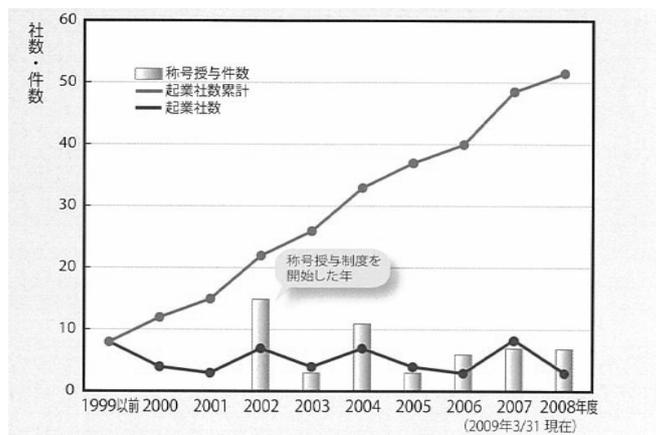
6

発明・ライセンス



7

ベンチャー



8

4.事業化支援策

- 未公開特許の早期開示(NDA)
- 独占的实施権付与
- 海外権利取得に配慮
- 特許庁・早期審査制度の活用
- 技術相談/技術指導(兼業)

9

早期審査制度

- 早期審査制度は、一定の要件の下、出願人からの事情説明書による申請を受けて審査・審理を通常(審査請求後3.5年)に比べて早期(審査請求後3ヶ月)にするもの。
- 早期審査対象は、中小企業又は個人、大学・短期大学、公的研究機関、承認TLO、外国出願、実施関連出願(実施許諾を受けた者)さらにグリーン発明(省エネ、CO2削減等の効果を有する発明)

10

技術指導(兼業)

- 本学の教員は、企業等に兼業することで、企業等の研究開発等に対する技術指導を行うことができる。
- 教員の兼業は、学長の許可が必要。
- 許可の条件として、原則として、勤務時間が平均して週8時間以内であることや、大学内で兼業先の業務に従事しないこと、兼業先との間に、物品購入等の権限に係る関係等、特別の利害関係がないことなどがが必要です。さらに、教員が教育・研究等で大学に対して負う責務と兼業したことにより兼業先に対して追う責務との関係が相反していないかの観点からの検討も必要になる。

11

5. 住宅構造研究所の成功例

12

特許登録・ライセンス経過

- 2005年1月28日：出願
- 2006年8月10日：公開
- 2007年10月10日：非独占実施権許諾契約
- 2007年10月16日：審査請求
- 2007年12月18日：早期審査請求
- 2008年1月18日：拒絶理由通知
- 2008年3月7日：意見書提出
- 2008年5月1日：特許査定
- 2008年6月20日：特許登録

13

大学のライセンス活動

- 大学のイベント（セミナー、研究会）
- 会員向け早期開示
- 関連企業への個別訪問（特許流通AD）
- 特許ビジネス市（INPIT）
- パテントソリューション等（各種展示会）
- 特許活用例集掲載（INPIT）
- 地域の特許流通ADのネットワーク

14

市場性(既存住宅)

- 建築経済研究所試算によると、
- 耐震性不足既存住宅: 1,400万戸
- 耐震改修コスト: 162万円/戸
(15000円/平方米 × 108平方米/戸)
- 市場規模: 21兆円

15

市場性(新築)

- 新築住宅の21年度の着工数、
- 総戸数: 77万戸
- 対象戸数(木造): 43万戸
- 制震部材費: 80万円/戸(予測)
- 制震部材市場規模: 3,400億円/年

16

市場性の課題

- 新築時には耐震構造に費用をかけるが改修時には掛けがたいユーザ心理がある。
- 改修時のほうが不確定要素が多く新築時より費用が高くなり工夫が必要。
- 建築確認申請の現行法では耐震壁の規定はあるが制震壁の規定がないので制震構造でありながら耐震壁の規定を獲得できる性能が必要。

17

事業化成功の要因(I)

- 市場規模⇨ストック＋新規(継続的)
- 他社との優位性⇨制震という付加価値
- 技術の信頼性⇨大学の実験データ蓄積
- 権利の強さ⇨登録特許
- 市場開拓力⇨関連会社の販路

18

事業化成功の要因(Ⅱ)

- 制震構造でありながら建築基準法の耐震壁の国土交通大臣認定の取得。

19

お問い合わせ先

東京工業大学産学連携推進本部
特許流通アドバイザー 鷹巢 征行

TEL : 03-5734-7634

FAX : 03-5734-7694

e-mail : takasu@sangaku.titech.ac.jp

20